



ながの 社会福祉士会 NEWS

■発行：社団法人長野県社会福祉士会 ■会長：関 裕 一
 ■事務局：〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館 6 F
 TEL：026(266)0294 E-mail：hope@nacsww.com
 FAX：026(266)0339 http://nacsww.jp/ ■編集：広報編集委員会

目次

巻頭言	1	被災地支援報告	7
地域生活定着支援センター	2～3	会長から会員へ	8
20周年記念報告	4～6	今後の予定	8
総会報告	6	編集後記	8
岡山大会報告	7		

巻頭言

長野県地域生活定着支援センター開設によせて

長野大学社会福祉学部講師 端 田 篤 人

20周年記念イベントも盛況のうちに終え、県士会の活動も新たなステージを迎えようとしています。まずは、式典の準備や運営に尽力されてこられたスタッフの皆さま、設立時より会の中心となって活動の充実化と組織拡大に努めてこられた先輩諸氏に、この場を借りて敬意を表したいと思います。

この20年間で、私たちソーシャルワーカーの活動領域も拡大し、教育や司法をはじめ、多様な実践分野で活躍する仲間が増えてきています。そして今、私たちソーシャルワーカーには、既存の法制度の枠内では対応しきれない、制度の狭間に位置する人々をどのように支えるか、制度的制約を超えた柔軟かつ超法規的な実践をいかに展開していくかが問われるようになってきています。

職能団体の使命も、従来のネットワーク構築と相互研鑽のレベルを超えて、その特性を活かした実践を行い、クローズアップされにくい社会問題の実情とその解決・緩和に向けた同調を社会に訴えかけるレベルに昇華させていく必要があると思います。

その手始めとして、本会では今年度より、長野県からの委託を受けて「長野県地域生活定着支援センター」を開設し、事業を開始しました。支援対象者の多くは、早期から適切な支援を得られていれば、犯罪行為や非行を未然に防げた方たちです。そして矯正施設からの出所後、適切な居住空間と支援を得ることができれば、法に触れる行為を繰り返すことなく、地域で当たり前の暮らしを営んでいくことができる可能性が高い方たちです。しかし、一般社会からの偏見は強く、一人の方の帰住先を調整するにも、莫大な時間コストとエネルギーを要します。この事業を軌道に乗せるためには、県内各地で活躍される会員の皆さまの協力が不可欠です。ぜひ、暖かなご助言、ご声援をお願いいたします。

犯罪者や非行少年の社会復帰支援、地域定着支援といった司法福祉は、社会福祉の新しい分野のように語られることも少なくありませんが、明治期、原胤昭や留岡幸助といった慈善事業の先人たちが真っ先に取り組んだ課題でもあり、社会福祉の発達史上、草分けともいえる実践領域です。ソーシャルワークの原点ともいえるこの事業を实らせることから、県士会の新たなステージを始動させられることは、とても意義深いことだと思います。

長野県からの受託事業

「長野県地域生活定着支援センター」の事業が順調にスタートしています！

今年度4月1日、長野県社会福祉士会が初めて長野県からの委託を受けてスタートした「長野県地域生活定着支援センター」の事業は、支援員3名（うち1名はセンター長兼務）・事務員1名（社会福祉士会事務局兼務）体制でスタートし、早3か月がたちました。

この事業は、長野県社会福祉士会としてもスタッフとしても“司法福祉”というあまりなじみも経験もない分野の事業ですが、開設当初からすぐに対応の必要な数件のケースの引き継ぎを受け、関係機関のご支援をいただきながら、実践的な研修を行い、より良い支援を行うため一歩ずつ前進しています。

まだまだこれからという状況ですが、会員の皆様のご協力をいただきながら、社会福祉士会がこの事業を行っていく良さを発揮していきたいと思っております。

司法と福祉の架け橋を！

長野県地域生活定着支援センター長 橋 爪 一 壽

～24年6月8日のダイアリーより～

松本地方晴天 外気温度30.3℃（本年初めての真夏日となる。）

今日は目頭が熱くなり、声にならない経験を…。打ち合わせの9時10分前に松本少年刑務所に到着する。

4名の刑務所職員に付き添われ、少年がこちらに向かってくる姿に、3回の面接では見られなかった「えがお」があり、この「えがお」をなくすことのないよう、くじけず明日に向かって欲しい。人生は一人ではない事を伝え、少年に何が必要かを考えながら今後のフォローをしていきたい。

これはセンターが保護観察所から依頼のあった中で最初の出所日を迎えたケースです。

長野県地域生活定着支援事業（長野県受託事業）を長野県社会福祉士会が受託され、3名の支援員スタッフにて4月1日から事業を開始しました。矯正施設（刑務所または少年院など）の出所予定者で、保護観察所の特別調整枠に該当する高齢者や障がいのある方が地域社会に復帰するための支援を、保護観察所と協働して行っております。現在、コーディネート業務6件（長野・松本少年・静岡・府中・山梨刑務所入所者）、フォローアップ業務4件（養護老人ホーム2名・更生保護施設1名・養護施設1名）の10件を担当し、入所者の希望を尊重しながら市町村やいろいろな施設等をお願いしながら支援をすすめております。たとえば、住民票の設定・生活保護申請・住居設定等幅広い業務が伴い、私たちは各関係機関等に協力依頼をし、司法と福祉の架け橋として橋渡しの仕事をしております。長野県社会福祉士会においても、私たちの業務の推進のため、8名からなる運営委員会を設置していただき、毎月1回ケースについての検討会を行っていただいております。私たちにとりまして道標となり、支援を進めていく上でとても参考になっております。今後この事業を推進していく上におきまして会員の皆様方にご指導ご協力いただくことがあろうかと思っております。その節にはご指導ご鞭撻をお願いいたします。会員皆様方のご健康と益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

支援員の紹介 ～～センター長評です～～

はじめまして！センター職員です！

◇山崎 克美

年齢は…会員の皆様にお会いするのを楽しみにしていますので、会って確かめてください。

埼玉生まれの美人です。縁があり長野県民です。小粒でピリっと辛い胡椒だと思ってください。ここにお世話になる前は精神障害者施設に勤務していました。二人の母親であり、とても明るく、面倒見は天下一品。この仕事にはなくてはならない存在です。人生経験豊富で、話が面白いですよ。

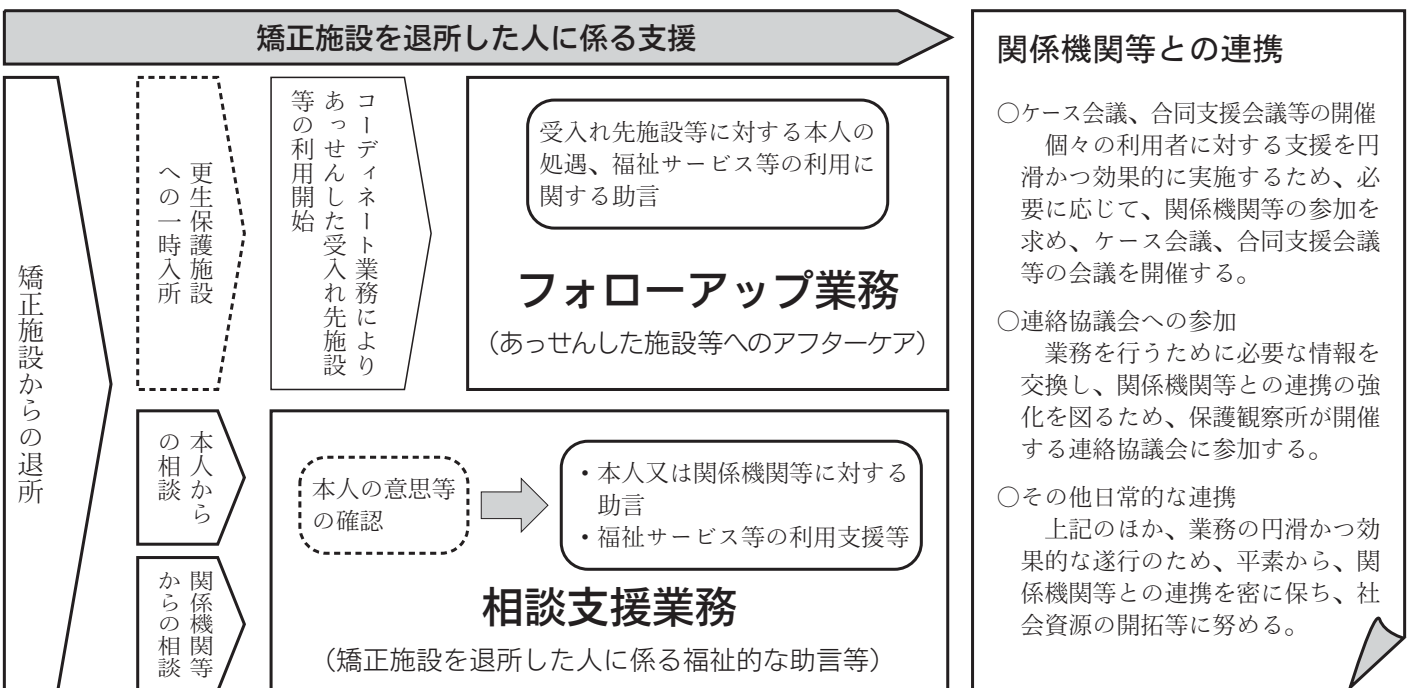
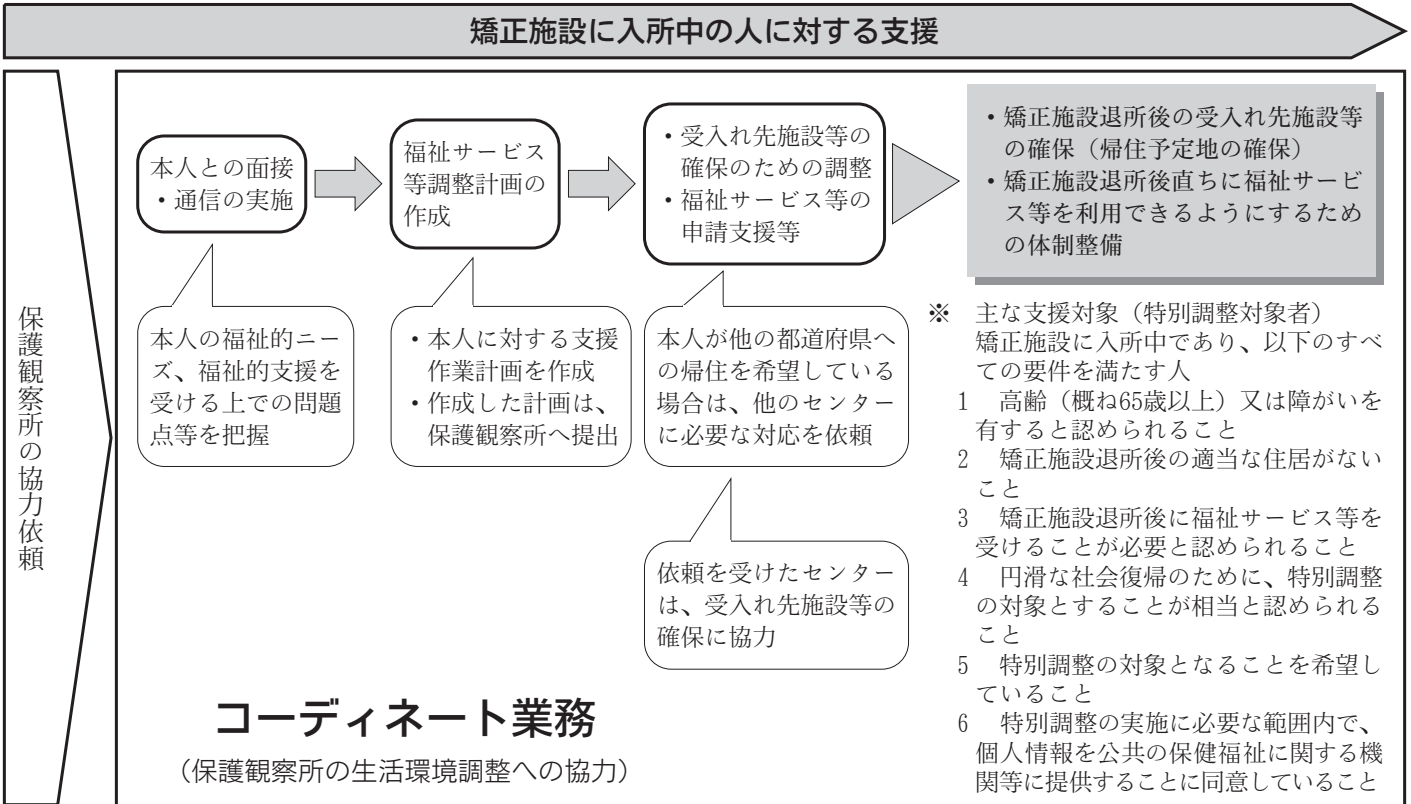
◇白砂 歩

二度目の節目を迎える年齢です。青春まっただ中です。卒業後初めての職業であり、わからないことばかりですが前向きな姿勢で頑張っています。地域生活定着支援センターの仕事に誇りを持って長く続けたいと思っています。笑顔が素敵なわが職場の“華”です。通勤には2時間ほどかかっています。今は休日に高速にて新潟の実家に帰り母親との会話のひと時が楽しみです。

地域生活定着支援センター事業の目的

センターの事業は、高齢であり、または障害を有することにより、刑務所等矯正施設から退所した後、自立した生活を営むことが困難と認められる者に対して、保護観察所と協働して、退所後直ちに福祉サービス等を利用できるようにするための支援を行うことなどにより、その有する能力等に応じて、地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことを助け、これらの者の福祉の推進を図ることを目的としています。

事業の概要



※地域生活定着支援センターからのお願い

この事業を推進していく上で、地域の中の社会福祉施設・関係機関で仕事をされている社会福祉士の皆様のご協力が欠かせません。

支援をすすめるにあたり、各種の情報提供・助言・協力のお願いをさせていただきますので、その折にはよろしくお願ひいたします。

設立20周年記念 明日の福祉を考える公開セミナー
in 信州

2012年5月19日(土)にホクト文化会館（長野県県民文化会館）中ホールにおいて、当会と長野県介護福祉士会との共催により、設立20周年記念『明日の福祉を考える公開セミナー』を開催しました。



参加者は、本会会員が170人、長野県介護福祉士会会員が260人、福祉事業所及び一般住民が170人と合計600人が参加しました。



● プログラム

- 20周年記念式典（14時00分～）
- 主催者挨拶 □ 来賓挨拶 他

右足を骨折された中で
ご講演いただきました！

- 記念講演（14時40分～）
- テーマ 「がんばらない、あきらめない、なげださない！」
- 講師 鎌田 實 氏（医師・作家）



- パネルディスカッション（16時00分～17時30分）
- テーマ 「その人が その人らしく あり続けるために！」
- パネラー
- 阿部 守一 氏（長野県知事）
- 市川 一宏 氏（日本社会福祉士養成校協会副会長、ルーテル学院大学 学長）
- 石橋 真二 氏（社団法人日本介護福祉士会 会長）
- 宮島 渡 氏（認知症介護指導者、高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ総合施設長）

● お礼

20周年記念にあたって、各関係機関・団体等からお祝いのメッセージやご祝辞をいただきました。改めて感謝申し上げます。

長野県知事 阿部守一様／社会福祉法人長野県社会福祉協議会 会長 腰原愛正 様／社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋真二 様／社団法人日本社会福祉士会 会長 山村睦 様／長野県福祉施設経営者協会 会長 井口光世 様／NPO 法人長野県高齢者福祉協会 会長 佐藤繁信 様／長野県老人福祉施設事業連盟 理事長 市村卓美 様／長野県老人保健施設協議会 会長 上條節子 様／長野県軽費老人ホームA型協議会 会長 澤柳武司 様／社団法人 長野県知的障害福祉協会 会長 宮下智 様／長野県身体障害者施設協議会 会長 佐藤正雄 様／公益社団法人 長野県看護協会 会長 三輪百合子 様／一般社団法人長野県理学療法士会 会長 市川彰 様／長野県作業療法士会 会長 青木明 様／長野県司法書士会 会長 熊谷健 様／公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポートながの 支部長 戸田雅博 様／長野県精神保健福祉士協会 会長 福田隆 様／長野県行政書士会 会長 山崎隆二 様／NPO法人 長野県介護支援専門員協会 会長 中村雅彦 様
(順不同)

● レセプション

小山順子プロジェクトリーダーが作成したスライドで、20年
間を10分間で振り返りました！

20年前、わずか31人の思いで立ち上がった長野県社会福祉士
会が今では900人を超す団体へと成長しました。

10年後の30周年！どんな会になっているでしょうか？



20周年記念に 参加して

熱き発足の時から節目の20年、
過ぎ去りし歳月を改めて思う。

社会福祉士とは何ぞや、知事
が語った共感力、協働、発信力
に社会的評価あり。

(中島謙二さん)

鎌田先生の「相手の身になっ
て考える」というあたりまえ過
ぎるお言葉に、改めて感銘しま
した。みんなでお互いの立場を
尊重し合えば、地域の福祉力も
向上し、そこに住むすべての方
が幸せになれると信じ、専門職
として関わっていきたいと思
います。

(鈴木尚志さん)

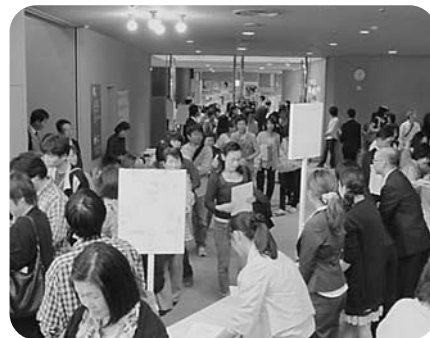
骨折して初めて排泄介助を受
けた鎌田先生。その体験を通し
て、他者の苦しみや痛みさらに
想いを寄せる謙虚な姿が素敵
でした。

(小松志津香さん)

社会福祉士会、介護福祉士会
設立20周年おめでとうございます。

私は、鎌田先生の記念講演し
かお聞きできませんでしたが、
実践をしている人の言葉には重
みがありました。その人の身にな
って、その人に寄添うこと、
その人の言ったことに耳をかた
むけること、その人に合った支
援をすること、制度がないから
できないと考えるのではなく模
索すること、そこに新たなつな
がりが見つかるそんなことに気
づかされました。

(高山勉さん)



地域のなかで、それぞれに活躍されて
いる方のお話を聞くことができ、とても
良い刺激になりました。そのなかで感じ
たことは、人と人とのつながりです。

人が集まることによって、ひとりでは
できないことも可能になります。地域の
ネットワークを広げることが必要です。
私も微力を尽くします。

(石田正夫さん)

社会福祉士会に入会してから「金（会
費）は出すけど口は出さない」という良
質な会員?!を貫いていましたのに、今
回「口も手も出す」会員としてデビュ
ーしてしまいました。

パネラーの市川先生がおっしゃった
「専門職とは『自分が何ができるか話せ
る人』」を胸に、30周年に向けて「自分
は何ができないか（笑）」を真剣に考え
て行こうと思っています。良き仲間、良
き言葉、良き刺激に出会えたことに感謝
を込めて。

(土屋ゆかりさん)



ホールが人で埋まり圧
巻でした。日頃の活動の
成果があれだけの人を呼
ぶのだと感動しました。
大イベントを開催するに
あたり、運営スタッフの
皆様には大変なご苦労が
あったとお察しします。
ありがとうございました。

(市村清和さん)

20周年記念プロジェクトメンバーから…



当日私は日本社会福祉士会理事会出席のため上京しており、祝賀会しか参加できずとても残念でした。でも、日本社会福祉士会山村会長からの口伝のメッセージをお伝えできましたし、スライドショーもお楽しみいただきました。長野県社会福祉士会の歴史を紐解きつつ、未来に向かって一致団結できたと自画自賛。みなさまのご協力に感謝しています。これからも長野県社会福祉士会を、よろしくお願ひ致します！

(小山順子)

2012.5.19当日のスポットライトが当たるステージ上を見る限りは、何とか盛会裏にできたのかなあと思う。しかし、裏方はハラハラドキドキのオンパレードでもあったのは事実。県士会単独開催ではなく、介護福祉士会との共催事業にも関わらず、PTの会議も2回だけで必要に応じてメールでも打ち合わせ、資料や対外的な連携を含めPTメンバーの総力を挙げたからできたのかな、メンバーに感謝！！。

(小池正志)

いろいろあった20年に相応しく、本当にいろいろあった1日でした。助けていただいた多くの皆様に感謝です。また、それぞれにいろいろあった懐かしい方々と語らうこともでき、自分も結構いろいろあったのかなと思ったりもしました。身体はほとんど疲れましたが、元気をもらったの家路でした。

(新村 潤)

20周年記念式典&公開セミナーが無事に終了。PTメンバーに誘っていただき1月21日の初会議から2回のみ顔を合わせたの会議。でも、途中数回あったメールでの打ち合わせは感動！「つながってるなあー」って感じがした（そういう私はたいしたお役には立てなかった。他のメンバーのみなさんの力）。そして当日。私は受付にて・・・会場内には一歩も入らず・・・その後の、祝賀会。これも受付。待てど暮らせど誰も来ない。一時間過ぎてやっと開宴。思い出の写真を見ながら歴史を感じた。PTに関わり、陰で御苦労してくれている人がいて今があることを知った。

(黒岩秀美)

社会福祉士会に入会して、これまでほとんど会員としての責務を果たしてこなかった私が初めて関わった今回の記念事業。これまで諸先輩方が築き上げてきた県士会の歴史を改めて確認するとともに、今後、少しずつ会員全員がその礎に新たなものを加え、25周年、30周年と歴史を刻まなければならないという想いも強くしました。

とはいえ、少々疲れました…。

(松本一輝)

大勢の方々の協力と参加により、20th記念イベントは、盛大に挙行されました。

改めて県士会が多くの会員によって成り立っている組織であることを感じると共に、県士会から地域や社会に向け発信する力とその意義を感じました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(林部智子)

20周年という節目の年。プロフェッショナルとは何か？ということを考えてみた。職場の環境や立場はそれぞれでも国家資格を有する社会福祉士としては同じ。福祉のプロフェッショナルとして、権利擁護の視点を持ち続けることが求められる。『譲れないもの』『譲ってはいけないもの』その実践の確認を10年後の式典で行いたい。未入会の社会福祉士に声を掛け続けていきましょう！

(宮本雅透)

第11回 定期総会報告

第11回定期総会をホクト文化ホール（中ホール）で開催。関会長の開催の挨拶後、高垣利行会員を議長に選出。

114名の出席及び書面表決・委任状により、平成23年度 事業報告・平成23年度決算・一般社団法人 長野県社会福祉士会定款（案）・規則の改正について・追加議案として平成24年度の選挙管理委員についてが原案どおり承認されました。

総会では、様々な意見、質問をもとに活発に議論がなされ、今後、検討すべき事項も見えてきました。これも、会員の皆様が、自分たちの社会福祉士会として主体的な思いを持っていることの証だと感じました。

(運営委員 立松進治)



日本社会福祉士会全国大会報告（岡山大会）

振り返る！



日本社会福祉士会 山村会長が語る！ 「社会福祉士はチャンスの時を迎えたが…、ピンチの時！！」

6月2日～3日の2日間にわたり、岡山市を会場に『日本社会福祉士会全国大会』が開催されました。当会では、本大会に参加するため有志によるツアーが企画され、参加者を募り、12人が参加しました。

大会では、厚生労働省社会・援護局長が講演した他、「上げよう！社会福祉士の絆～これまでの20年 これからの新たな決意」をテーマにシンポジウムが行われました。

京極高宣氏から25年前に社会福祉士が国家資格として位置づけられた背景や秘話が語られ、潮谷有二氏から国家資格制度の創設以来、積み残された社会福祉主事制度の課題について語られました。その後、日本社会福祉士会 山村会長からは、『社会情勢から社会福祉士が求められる場面が多くなってきているが組織力、専門職として質の担保においてピンチの時を迎えている』と実状が語られました。

生涯研修制度による質の担保の他、社会福祉士会の組織力強化が求められています。来るべき将来の社会福祉士として期待に応えるために…。

※来年は『岩手』での開催です！そして、再来年は…『鹿児島』?!

【レポート】 長戸 桜子

「語ろう！つながろう！学び合おう！」というチラシに魅せられて、2年ぶりに長野に戻ってきた懐かしさと、学生時代のゼミで夜通し飲んで、福祉について熱く語った日々を思い出し、参加した。ただ、情熱は衰えずとも、体は確実に衰えており…。

早朝、岡山に到着した我々一行は、全国大会が始まる午後までの間、岡山城や天下の後楽園を見学。「同じ黒い「烏城」でも、松本城は国宝だし、品格が違うね」とか「高い山がないから、築山を作ったんだね」と勝手なことを言い、岡山名物「バラ寿司」を食べ、路面電車に乗って、会場へ向かった。

年を重ねることで出来上がっていく自分なりの感性や価値観。福祉の現場では、この感性や価値観が大事であるが、時に邪魔になる。時代の先端の福祉に触れ、最先端の研究者の発表を聞くことが、自分の感性や価値観が揺さぶられ、見直すいい機会になる。そして、旅をすることで、いつもとは違う風土や文化を感じ、日常生活から開放されて、リフレッシュされる。

社会福祉士会のいいところは、年齢も職場も置かれた立場も違う人が同じ仲間として、集えるところだと思う。そんな同志と一緒に過ごす旅が楽しくないわけがない！！

ただ、長距離でのバス移動は、体に負担がかかるので、今度は、近場の温泉で、福祉について熱く語りあえる場があれば、ありがたい。そんなことを考えた岡山大会への有志ツアーだった。

始めてお会いする方々が多かったのですが、やっぱり社会福祉士の仲間！笑いが絶えない2日間でした。そして研修だけでなく、岡山のまちや食を堪能でき、とっても楽しい時を過ごせました！来年は、岩手県、さあ、積み立てをはじめましょう！！

戸崎洋子

初めて参加しましたが、新たな出会いもあり、刺激を受けました。人と人のつながりの大切さを、改めて感じました！

小布施裕子



第20回という記念すべき大会に、はるばる岡山までとても楽しく、かつ年配者にはハードな県士会バスツアーで参加させていただきました。普段ゆっくりと語り合うことの少ない会員の皆さんとも2日間一緒に過ごさせていただき、とても有意義な時間となりました。大会では、全国から集まった参加者の熱気をひしひしと肌で感じながら、明日からまた頑張ろうというエネルギーが湧いてくる気がしました。来年は岩手県での開催ですが、何やら今からバスツアーの計画がひそかに行われているとか!? 実施の折には是非皆さん一緒に参加して下さい！！

若林喜久雄

2012年度 日本社会福祉士会 “被災地支援” 始まる！



主体は現地！地域包括支援センターの機能強化を目指す！ 地域の課題を言語化し、組織や地域で合意を得ながら実施する！

2011年3月11日、東日本大地震発生以後、日本社会福祉士会では全国の社会福祉士を募り、927人の会員が地域包括支援センターの側面的支援を中心に宮城県（東松島市、南三陸町、石巻市）、岩手県（大槌町、山田町、陸前高田市）で活動をしてきました。

2012年度の支援活動は、「高齢者ニーズ再調査（定点調査）」と「地域ネットワーク再構築」の2つの事業です。（詳細は、日本社会福祉士会ニュースをご覧ください。）

日本社会福祉士会が支援者の募集を行い、長野県社会福祉士会からは「高齢者ニーズ再調査（定点調査）」に平岩真吾さんが、「地域ネットワーク再構築」に佐藤麻紀さん、若林喜久雄さんが登録しました。

5月20日に「地域ネットワーク再構築」活動を実施するために登録者が集い、オリエンテーションが開催されました。オリエンテーションでは、大槌町と山田町の地域包括支援センター職員が、地震発生時から現在に至るまでの状況について説明を受け、社会福祉士に求められる役割について確認を行いました。（写真は5月20日研修会の模様）

日本社会福祉士会と長野県社会福祉士会の関係と代議員の増員について

日本社会福祉士会（以下日士会）は、長野県社会福祉士会（以下県士会）を含むそれぞれの県士会の連合体に組織が変更となりました。これは、すべての県士会が法人化された現在、日士会と県士会は対等な関係であり、以前のような本部・支部の関係ではなくなると言うことです。しかし、皆さんが日士会の会員でなくなるということではなく、県士会に加入している会員は、県士会が会員となっている日本社会福祉士会に加入しているという、間接的な形ですが、実質の変更はありません。例えば日士会が開催する研修等への参加や、日士会からの情報提供等は今までどおり行われます。

また、代議員に関しては、会員数による代議員の選出区分（長野県は3人）が、各県士会1票という形に変更されます。本年度は移行期間であるため、今までどおりの選出区分で対応していくはずでした。ところが、3月末の会員数で計算しなおしたところ、全国150人の代議員数を各県士会の会員数で計算しなおしたところ、長野県は代議員が一人増え4名選出することとなったとのことで、三役会で検討し、運営委員の春原伸行さんをお願いすることとなりましたので報告いたします（今までは関、坂口副会長・三村運営委員）。

全国の動向については、日士会の広報やホームページとあわせ、県士会からの広報でも随時お知らせしていきますので、よろしくお願ひします。

一斉送信メール！ ～情報を配信します～

平成24年から“一斉送信メール”に切り替え、最新の情報を事務局から会員の皆さまに伝えています。一斉送信メールの登録をさせていただきますようお願いいたします。（登録方法はホームページを参照）

◆ 一斉送信メールで情報を発信してみませんか？ ◆

孤立死ゼロプロジェクトの立ち上げにあたって一斉送信メールで情報を発信し、メンバーの募集をしました。会員に伝えたいことなど、一斉送信メールを活用することができます。

送信希望の場合は、事務局へ！

今後の予定

最新の予定は、本会ホームページ（<http://nacsw.jp/>）をご確認ください。

日程	時間	場所	内容
7月20日(金)	19時30分～	松本市内	運営委員会
7月21日(土)	15時00分～	長野市ふれあい福祉センター	北信地区学習会
7月24日(火)	19時00分～	ベルポートまるこ	上小ブロック事例検討会
7月28日(土)	10時00分～	長野大学（予定）	基礎研修（集合研修Ⅰ）
8月24日(金)	19時00分～	松本市南部公民館1-4会議室	中信地区 8月学習会
9月1日(土)	9時30分～	松本市総合社会福祉センター	成年後見人養成研修（2日目）
9月1日(土)	18時00分～	四川乃華南松本店	ぱあとなあ会員懇親会
9月2日(日)	9時30分～	松本市総合社会福祉センター	成年後見人養成研修（3日目）
9月10日(月)			長野県社会福祉士会役員選挙公示
9月17日(月)	9時30分～	松本市内（予定）	第2回ぱあとなあ地区運営委員会
10月6日(土)	未定	長野大学	社会福祉士全国统一模擬試験
11月18日(日)	未定	長野大学（予定）	実習指導者フォロー研修
12月23日(日)	10時00分～	長野大学（予定）	基礎研修（集合研修Ⅱ）
未定	未定	中信地域（予定）	高齢者虐待対応研修（2日間）

◎ 入会状況（平成24年5月末現在） * 会員数：905人 * 新入会員累計：31人 * 入会率：34.05%

編集後記

放鳥されている国の天然記念物のトキのペアから生まれたひなが巣立ちの時を迎えています。5月時点で3ペア8羽のひなが確認されており、すでに3羽のひなが巣立ちました。また、このペア以外にも抱卵しているペアもあり、今後も更なるふ化や巣立ちが期待されます。ひなには、試練の始まりですが、日本人の一人として1羽でも多くのふ化とひなの巣立ちに期待を寄せてまいります。

さて、長野県社会福祉士会も、任意団体として社会に出てから20年を迎えたわけですが、その活動は何代にもわたって先輩から後輩社会福祉士に引き継がれ、これからも次世代の社会福祉士へと引き継がれていくことなのでしょう。今年巣立ったひなが10歳を迎えるとき、どんな社会福祉士会を見ているのでしょうか。願わくは、“その人がその人らしくあり続ける”を支える仲間全員が、誇れる長野県社会福祉士会になっていたらいいなと思います。



（トキ）